



## 入善町 移住・定住 「提言会議」とは？

入善町は「ストップ人口減少」を重要課題に掲げている。方策の一つである人口の社会増を実現するため移住定住促進事業を展開。中でも、県内の大学生グループや北日本新聞社との「言・学・官連携地方創生事業」では動画制作などの取り組みを進めてきた。

連携事業の一環として、2017年1月30日と2月27日の2回にわたり、移住先として選ばれるための提言をまとめる会議を開いた。学生に加えUターンした住民や移住事業の関係者ら計16人が、町内外から見た入善の現状を共有し、アイデアを出し合った。

以下の視点を大切にしながら議論を進めた。

### 提言内容について

- ・ターゲットや強みを明確に
- ・小さな町だからこそ突き抜けよう
- ・注目されることを意識しよう
- ・目標を設定しよう

### 話し合い方について

- ・多様な意見を否定せずにきこう
- ・リラックスしよう
- ・思いついた言葉やアイデアを共有しよう  
(つぶやきを大切に)

第1回は、「町の課題と今後の作戦(=移住作戦)を考える」と題し行われた。メンバーの顔合わせ後、大学生の動画制作などの活動発表を受けて、入善に住む魅力や課題について話し合った。

第2回は、「前回の話し合いをもとに、提言(移住作戦)をつくろう!」ということで、前回は振り返りながら、より具体的で魅力的な提言にすべく、ブラッシュアップを行った。



1月30日、2月27日の2回にわたって入善町のうらおい館で会議を開催した。

### 提言会議 参加メンバー

- 榊原 拓実さん**  
(県立大学 地域協働研究会COCOS)
- 大巻 翔さん**  
(県立大学 地域協働研究会COCOS)
- 中元 颯希さん**  
(富山国際大学 地域協働研究会COCOS)
- 打越 公成さん**  
(富山大学 街なかメイクアップサポーター)
- 山本 和加奈さん**  
(富山大学 街なかメイクアップサポーター)
- 沖 優希さん**  
(富山大学 街なかメイクアップサポーター)
- 佐田 洋さん** (入善町商工会青年部長)
- 中島 理さん** (東京からUターン)  
アニメ背景制作の仕事をしてながら  
実家の入善ジャンボ西瓜栽培を手伝う。
- 飯田 和幸さん・真紀さん**  
(神奈川からUターン)  
夫婦でカトラリーやガラス工芸品の  
制作活動をしている。
- 竹内 真理子さん** (県定住コンシェルジュ)
- オブザーバー**  
**笹島 春人さん** (入善町長)
- 進行役**  
**佐藤 俊弘** (北日本新聞新川支社長)

平成28年 言・学・官連携地方創生事業

住むところ  
いいところ  
行くとこ入善!  
にや せん

# 移住作戦

## 24

入善町が移住先として  
選ばれるための24の提言



作成：入善町 移住・定住「提言会議」  
企画：北日本新聞社

入善町を  
知る

提言  
1

# 入善DAY

## 都会で、入善の日常を楽しむ日々。



竹内 真理子さん

「来てもらう」ことばかりでなく、自分たちが「行く」ことも考えてみよう。町民が都会に押し寄せ、ご飯を作って食べたりおしゃべりしたり…入善の町や日常を再現する「入善を楽しむ日」を作ってはどうか。「これは!」と思う人をハントし、直接アピールしてファンにして、連れて来てしまおう!「杉沢の沢スギ」のような癒しの空間も再現できたら楽しそう!

提言  
2

## 地元の歴史・祭りを発信しよう

過疎が進み、祭りが廃れたり簡易的になっている昨今「天狗祭り」などの地域に根ざした祭り文化が残っていることを発信してほしい。

提言  
3

## 周辺の魅力も発信を

「すぐ宇奈月温泉に行ける」「新幹線駅が近くにある」「立山に近い」など、町内だけでなく周辺にあるものの魅力も発信すべき。

提言  
4

## 幸せに暮らす人の姿を発信

入善町で幸せに暮らしている人にインタビューし、ウェブやパンフレットで発信してはどうか。暮らす人の姿が、移住を考えるきっかけになることもある。

入善町で  
暮らす

提言  
13

# 自然豊かな環境 を、猛烈アピール

## のびのびと健康に暮らせる、強み。

自給自足の生活がしたい都会生活者、子どもを自然豊かな土地で育てたい親世代、のびのびとした場所でものづくりをしたいクリエイター…など、ストレスなく、のびのびと自分や家族の求める理想的な生活を思い描いている人は少なくない。自然に恵まれた環境のよい場所で、広々と暮らせるという魅力を、力強くアピールしてはどうか。



飯田 和幸さん  
飯田 真紀さん

提言  
14

## 生活コストが安いときアピール

美味しい水が容易に手に入る、広い居住空間や空き家が安く手に入るなど、生活コストが低くても豊かに暮らせることをPRしよう。

提言  
15

## 子育てのしやすさをアピール

自然が豊かで、地域の人々とのふれあいなどもある地域。のびのびと子育てできる環境をアピールしていこう。

提言  
16

## 心も体も健康になる暮らし

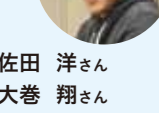
「何もない」を逆手に取り、環境のよい入善に移住すると、心も体も健康になるという風にアピールしていればよい。

入善町を  
訪れる

提言  
5

# 味見できるまちに

## 暮らしや仕事の、優良移住体験を。



佐田 洋さん  
大巻 翔さん

入善の暮らしのよさを知ってもらうには、少し時間が必要。そこで、仕事をしながら移住体験ができた、地域行事の準備などを通じて町の人との交流が図れたりする、長期の移住体験ではどうか。数日の移住体験では見えてこない、自分のライフサイクルに合わせた入善の暮らしを、気軽に「味見」できるような支援メニューがあるとよい。

提言  
6

## 多世代向けの泊まりがけイベント

墓の木自然公園キャンプ場などで、ライブやワークショップなども楽しめるアート・クラフトイベントができれば、町内外から人を呼べる。

提言  
7

## マリンスポーツを入口に

海という食のイメージが強いが、海のアクティビティに注目したい。インストラクターからマリンスポーツを学べる場所ができるとよい。

提言  
8

## 入善町を何かの「聖地」に

例えば、オンラインゲームをする人の観戦イベントの受け入れなど、ニッチの分野に注目して何かの聖地を目指す、来訪者は増える。

入善町で  
働く

提言  
17

# 農業・漁業・酪農 バスツアー

## 入善の産業と食を満喫できる旅。

入善町の花から山までの地形を生かし、様々な第一次産業に興味のある人に向けて、バスツアーを実施してはどうか。訪れた先々で、収穫された野菜を使った料理やあら汁などを食べ、いろいろ館で宿泊するというもの。入善ならではの産業にふれながら、食文化や町民との交流も行えるので、移住するきっかけづくりになるのではないかな。



中島 理さん  
沖 優希さん

提言  
18

## 新規就農者の受け入れ体制を

本格的に農業を目指す場合、収入面やノウハウ習得にかかる時間など、不安も多い。短期間で農業を学べる場や受け入れ体制を整えてはどうか。

提言  
19

## 県東部のクリエイター拠点に

南砺市にアニメスタジオがあるように、県東部にクリエイター向けの拠点がほしい。ものづくりでできる工具をそろえたラボや空間があると嬉しい。

提言  
20

## 他とは違う「農業」の推進を

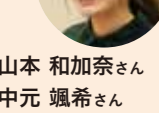
自給自足の暮らしや、田舎らしい暮らしを求める人たちのために、自然農法などの、他の地域とは違う特色ある農業を推進してはどうか。

入善町を  
好きになる

提言  
9

# 身近な写真や動画を集めて 町民コンテスト

## 暮らしぶりき、SNSで募集&発信。



山本 和加奈さん  
中元 颯希さん

インスタグラムやTwitter、YouTubeなどのSNSを使って、あるテーマに基づいてハッシュタグをつけ、町民にどんどん写真や動画を投稿してもらってはどうか。おばあちゃんの料理をインスタグラムでオシャレに発信したり、面白い動画や写真を集めてコンテストをしたり…。名産品や特産品を使った料理の開発・発信なども面白い。

提言  
10

## まち・人の魅力が伝わるイベント

きれいな水を使ったイベントや、ものづくりの好きな人が集うクラフトイベントやフリーマーケットなどが、町内でたくさん開催されるとよい。

提言  
11

## 地元の人と交流できるサロンを

入善の人たちはいい人が多い。いつ行っても、地元の人と来訪者が気軽にお茶をしながら交流できるサロンのような場所がまちなかにあるとよい。

提言  
12

## 「入善の朝食」を発信

入善町の人々がどんなものを食べているか、特に、町民の朝食にスポットをあて、写真やコメントとともに発信。食文化の豊かさをもアピールできる。

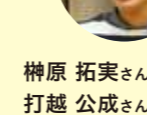
入善町を  
楽しむ

提言  
20

# 飲みに行ける田舎

## 車があっても飲みに行けるしくみ。

「飲みに行くと車で帰れないから田舎では飲めない」という固定概念をくつがえしたい。町内の空き家などを簡易宿泊所にし、「飲んだから気軽に泊まって帰る」という流れを作れないだろうか。気軽に飲みに行く人が増えれば、飲食店やまちが賑わい、人の交流も活発になり、もっと楽しいまちになるのではと思う。



榊原 拓実さん  
打越 公成さん

提言  
22

## シェアリングエコノミーを

1年間で15分しか使わない工具や道具を買うのはもったいない。コミュニケーションしながらDIYが楽しめるような活動や場所を整備してはどうか。

提言  
23

## 朝市の定期開催を

地元の新鮮な食材が手に入り、おいしいものがその場で食べられるような定期開催の朝市(理想は毎週開催)を、既存施設を活用しながら行えばよい。

提言  
24

## 日本最大級のアスレチック

入善の広い扇状地を生かし、広大なエリアの自然を楽しめるアスレチックなどがあるとよい。子どもから大人まで楽しめるのもよい。